取扱説明書

LCD-E554

LCD-E464

LCD-E424

目次

安全のために必ず守ること 日本語-1
重要な安全上の手引き 日本語-7
重要なお知らせ 日本語-8
ご使用の前に 日本語-9
設置 日本語-10
　壁への設置 日本語-10
　台座を用いた設置 日本語-11
　壁掛け用や天吊り用として使用する場合 日本語-12
付属品の確認 日本語-13
準備 日本語-14
　台座の取り付け 日本語-14
　ケーブルクランプを使う 日本語-14
　市販の壁掛け用取付金具を使用する場合 日本語-15
　リモコンに乾電池を入れる 日本語-16
　電源を接続する 日本語-17
　本機の電源オン/オフ 日本語-18
　電源ランプの状態 日本語-18
　接続端子の説明 日本語-19
操作説明 日本語-21
　サイドパネルの操作ボタン 日本語-21
　リモコンの使い方 日本語-22
　リモコンの使用範囲 日本語-23
　タイミングテーブル 日本語-24
オンスクリーンメニューの操作 日本語-25
　映像メニュー 日本語-25
　音声メニュー 日本語-26
　セットアップメニュー 日本語-26
　写真再生メニュー 日本語-27
　本機を廃棄するには(リサイクルに関する情報) 日本語-29
　保証とアフターサービス 日本語-30
製品仕様 日本語-31
外形寸法 日本語-34
　RS-232Cリモートコントロール 日本語-35
困ったとき 日本語-36
　故障かな?と思ったら… 日本語-36
用語解説 日本語-39

安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの
	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。		必ず指示に従いおこなってください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。		高圧注意（本体後面に表示）
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

⚠警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜き本機を安全な場所に移動する!!

異常のまま使用すると、本機の落下･火災･感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、本機を安全な場所に移動させ、販売店に修理をご依頼ください。

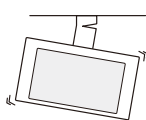
プラグを抜く

地震等での製品の転倒･落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒･落下防止対策をおこなってください。転倒･落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒･落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒･落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、全ての地震に対してその効果を保証するものではありません。

故障(画面が映らないなど)や煙、変な音･においがするときはただちに電源プラグを抜いてください。

使用禁止

火災・感電の原因になります。

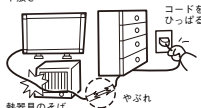
本機がぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は近づかない

使用禁止

お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。

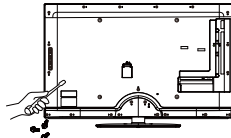
傾斜面や不安定な場所に置かない

使用禁止

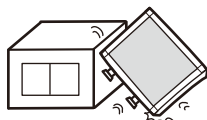
落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

電源コードを傷つけない

傷つけ禁止

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因になります。

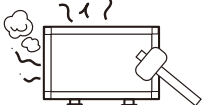
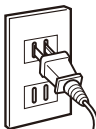
裏ぶたをはずさない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。

キャビネットを破損したときはただちに電源プラグを抜いてください。

使用禁止

火災・感電の原因になります。

異物をいれた時にはただちに電源プラグを抜いてください。

特にお子さまにご注意

禁止

火災・感電の原因になります。

ポリ袋で遊ばない

特にお子さまにご注意
本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。

禁止

修理･改造をしない

けが・火災・感電の原因になります。

修理・改造禁止

雷が鳴り出したら、電源コードには触れない

雷が鳴り出したら電源コードには触れないでください。感電の原因になります。

接触禁止

風呂場や水のかかるところに置かない

水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。

水ぬれ禁止

据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。

工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

指示

正しい電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。
本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

指示

液晶を口にしない

液晶パネルが破損し、液晶がもれ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりしないようにしてください。中毒を起こすおそれがあります。万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

禁止

⚠注意

設置のときは次のことをお守りください。
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

布などで通風孔をふさがない

不適切な換気は本機の寿命を短くし、過熱の原因になることがあります。

設置禁止

横倒し、伏せ置き、さかさまにしない

禁止

直射日光や熱器具のそばに置かない

設置禁止

屋外での使用禁止

本商品は屋内での使用を想定しています。屋外では使用しないでください。故障の原因となることがあります。

屋外での使用禁止

液晶パネルに衝撃を加えない

液晶パネル面を硬いものでたたいたりして衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因になります。
移動する際も、液晶パネルに手などが接触しないようにしてください。

禁止

車載用禁止

車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。

設置禁止

接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認のうえ、移動してください。

禁止

本機や置き台には乗らない

本機や置き台には乗らないでください。また、キャスター付き置き台に本機を設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。本機が倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因になります。

禁止

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない

温度･湿度が急激に変化する環境で使用しない

結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのまま使用すると故障の原因となります。

設置禁止

お手入れの際は電源プラグを抜く

感電の原因になります。

During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.

プラグを抜く

狭い所に置かない

設置禁止

電源プラグを持って抜く

コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。

プラグを持つ

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

電源プラグを奥までさしこむ

電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。

しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。

抜けかかり禁止

しっかり差し込んで

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを抜く

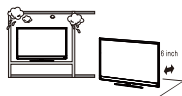
プラグを抜く

液晶パネルを廃棄する場合

ご自身で廃棄するのは大変危険ですので、お止めください。

本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。

注意

本機は限られた空間や箱の中に納めて使用しないでください。使用中の本機には常に十分な換気を行ってください。

本機の内部の点検･修理が必要になったときは販売店、または修理受付／アフターサービス窓口にご連絡ください。

リモコンに関する注意事項

水気を避ける	スプレー式の洗剤で洗わない	落とさない

注意

キャビネットの通気口を掃除する

キャビネットの通気口がごみやほこりでふさがると故障の原因となることがあります。
１年に一度はキャビネットの通気口を掃除してください。

通気口の掃除

１年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。内部掃除は販売店にご依頼ください。

内部掃除

電源プラグのほこりなどは定期的に取る

火災の原因になります。

１年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。

ほこりを取る

推奨の溶剤でお手入れする

ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となります。（化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。）また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよび台座が変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となります。

パネル表面のお手入れに溶剤を使用される場合は水、エタノール、イソプロピルアルコールを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。推奨以外の溶剤（酸、アルカリ、アセトン等）は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると、商品を破壊するおそれがありますのでご注意ください。

使用禁止

本機の上手な使い方

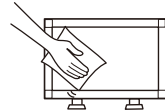
キャビネットのお手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

溶剤をご使用の際は“推奨の溶剤でお手入れする”にて使用できる溶剤をご確認ください。

プラグを抜く

液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押したりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようにご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。

上手な見方

明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。

また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

日本国内専用です

本機は日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

For use in Japan only

国内専用

重要なお知らせ

残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。
残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
コンピューター側のスクリーンセーバー機能やパワーマネージメント機能（パワーセーブ）などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。また、本機を使用しないときは、リモコンや電源ボタンを操作して本機の電源を切ることをおすすめします。

重要な安全上の手引き

本機を操作する前にお読みください
本機の画面に表示される警告や指示は必ず守ってください。

1. ご使用の前に、この説明書を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
2. この説明書は、いつでも見ることができる場所に保管してください。
3. ご使用の前に、「安全のために必ず守ること」を必ずお読みください。
4. 付属品/留め具類はメーカー指定のものだけをお使いください。
5. 連続して使用する場合には、1時間ごとに10分から15分程度の休憩を取り、目を休ませてください。
6. 異常に温度が高くなるところに、本機を置かないでください。例えば、夏の車内は、想像以上に高温になる為、火災やキャビネットの変形、内部部品が劣化する原因となります。

重要なお知らせ

注意:

電源コードは、下表に従い、本機に付属のものをお使いください。電源コードがついていない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。その他の場合も、必ず電源コンセントのAC電圧の規格に適合し、お使いの国の安全規格で承認され、また、それに適合した電源コードをお使いください。

プラグのタイプ	日本タイプ
プラグ形状	
使用地域	日本
電圧	100

本機は交流 100 ボルトの電圧で使用してください。

電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。

電源プラグをコンセントの根本まで差し込んでいない状態で、電下プラグの刃に触ると感電する可能性があります。

この商品に関する技術相談、アフターサービス等はお買い上げの国内でのみ有効です。

乾電池についての安全上のご注意

⚠注 意　**乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。**

- 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となるおそれがありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 乾電池は、お子様の手の届く所に置かないでください。万が一、飲み込んだおそれがある場合には、すぐに医師に相談してください。
- 乾電池を火の中に投入しないでください。分解や改造はしないでください。
- 本機付属の乾電池は充電しないでください。

お知らせ -

- 付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管しておいてください。

お願い -

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- 熱やスチームなどにあてないでください。

ご使用の前に

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品

グリーンマーク

JIS C 0950（通称 J-Moss）とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況により、次の２種類の表示マークがあります。

・含有マーク　：特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク

・グリーンマーク　：同化学物質が含有率基準値以下（但し除外項目あり）である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、

http://www.nec-display.com/jp/environment/j-moss.html をご覧ください。

■ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。

■ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

■ 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

■ 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Windows®は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）は、シリコン・イメージ社の登録商標です。

HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

お願い -

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ -

本機の近くで、携帯電話・トランシーバー・ラジオ・防災無線等の電子機器を使うと、映像や音声が乱れたりすることがあります。場合によっては、本機が回復不能な損傷を受ける場合もありますので、これらの機器は本機の近くで使用しないでください。

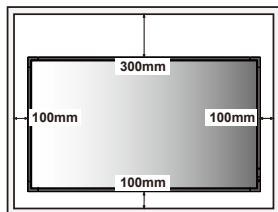
設置

設置する前に、以下の注意事項をお読みになり、正しく安全に設置してください。

⚠注意 **設置する際は、お買い上げの販売店までご相談ください。**

⚠注意 **移動や設置および取り付けの際は、十分な安全を確保できる人数(必ず2名以上)でおこなってください。落下してけがの原因となることがあります。**

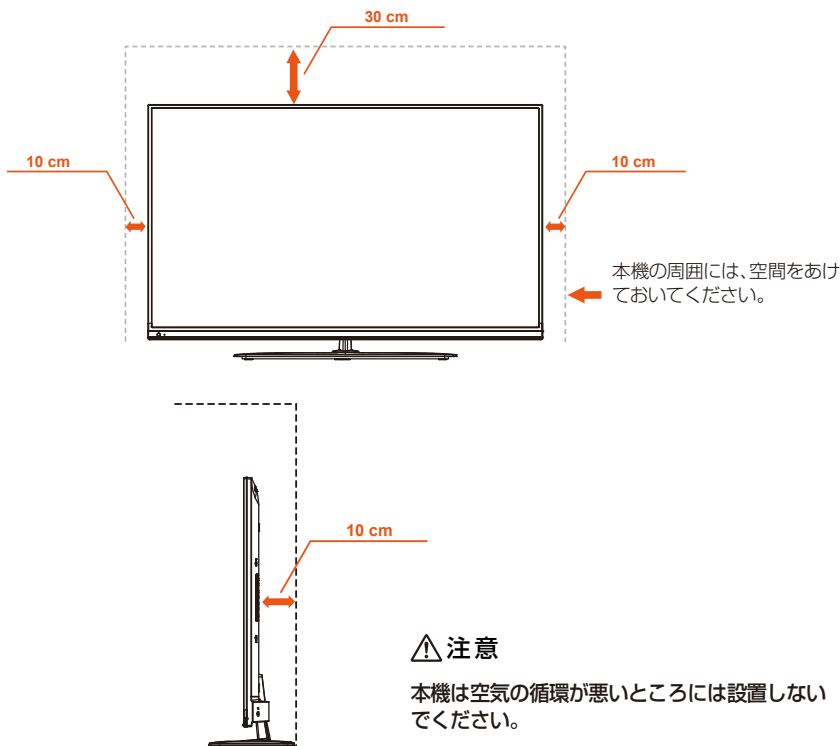
壁への設置

熱がこもるのを防ぐため、狭い場所(壁埋め込みなど)に設置する場合は、本機の周囲は下図のように壁から離してください。

⚠注意

本機の保証環境温度は40℃です。ケース等に入れて使用される場合は、ケース内部の温度が40℃以下となるよう、ケースにファンを取り付ける、通風口を設けるなどの処置をおこなってください。

台座を用いた設置

⚠注 意

本機は空気の循環が悪いところには設置しないでください。

本機の開口部は、必要な換気のために設けています。本機が過熱せず信頼できる動作を持続できるように、これらの開口部はふさいだり覆ったりしないでください。
適切な換気が行われないと、本機はほこりがたまって汚れてくる可能性があります。適切な換気が行われるように、以下の点を守ってください。

- 本機の画面を傾けたり、上下逆にしたりしない。
- 開口部を布などで覆わない。
- 本機をベッド、ソファ、敷物などの上に置いて開口部をふさがない。
- 適切な換気が確保されない限り、本機を本棚、作り付けの戸棚などの限られた空間に設置しない。

本機の周囲には、下図のように空間をあけておいてください。空間が足りないと空気の循環が悪くなって過熱し、火災が起こったり、本機が故障したりする可能性があります。

本機の開口部から異物が中に入ると、それが高電圧部品に接触したり部品間の短絡を起こしたりして火災や感電事故の原因になる可能性がありますので、異物は絶対に中に入らないようにしてください。本機の上には、物を置かないでください。

壁掛け用や天吊り用として使用する場合

■ 壁掛け・天吊り時の注意事項

⚠注意

壁掛け・天吊りの設置をする前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

- お客様による壁掛けや天吊りの設置は絶対におやめください。壁掛けや天吊りの設置はお買い上げ販売店か工事専門業者にご依頼ください。
- 壁や天井の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、取り付け場所については工事専門業者または販売店にご相談ください。

設置後のメンテナンス

- ねじのゆるみや部品のずれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。
- 環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足するおそれがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをおこなってください。

なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損害については、弊社は一切責任を負いません。
設置の依頼にあたっては以下の注意点を設置業者にご提示ください。

■ 取り付け向きについて

本機は縦型の状態で使用することはできません。

■ 取り付け場所について

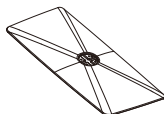
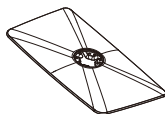
本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できる、強度のある場所を選んでください。強度の不十分なところに設置すると、落下して重大事故の原因となることがあります。
人が容易にぶら下がったり、寄り掛かれるような場所、頭や目がぶつかってしまうような場所、振動、衝撃の加わる場所、または、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。
設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないよう、空調や通風には十分配慮してください。
荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受けるようにし、確実に取り付けてください。
強度が不十分な設置面への直接取り付けはおこなわないでください。

■ 取付金具について

必ずVESA規格に準拠した取付金具を使用してください。
金具取り付け面の強度を十分確認して設置してください。
市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
取り付け前に、強度など安全性の確認をおこなってください。
金具の一部が本機の通風孔をふさがないようご注意ください。
取り付け方法、安全な設置方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書をご参照ください。
取付金具や取り付け場所に不具合が発生した場合を想定して、複数の取付金具を使用する、複数の場所で支える、転倒・落下防止などの対応をおこなってください。

付属品の確認

本製品 *[1] には以下の付属品が同梱されています。

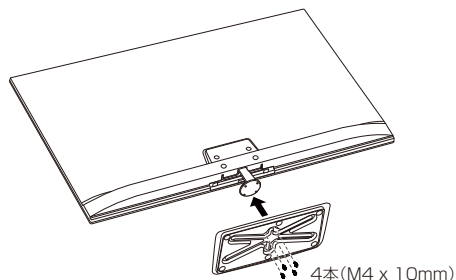
- ディスプレイ
- 電源コード*[2]
- 信号ケーブル
- 台座
- リモコン
- ユーティリティーディスク
- 1.5V単4形 乾電池 x 2
- 保証書
- 台座取付用ネジ x 4
- セットアップマニュアル x 1

お知らせ:

*1：運搬する場合は、本機が入っていた梱包箱と緩衝材をご使用ください。

準備

重要: 本機の一体性が損なわれる可能性がありますので、画面には力を加えないでください。お客様の誤った使用や不適切により生じた故障、不具合は、保証対象外となります。あらかじめ、ご了承ください。

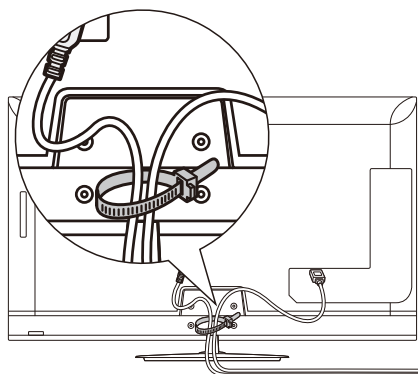
台座の取り付け

E554/E464/E424

1. 本機の画面を下に向け、傷のつかない柔らかくて平坦なところに置きます。
2. スタンド部に台座を取り付け、プラスのドライバを使ってネジで固定します。

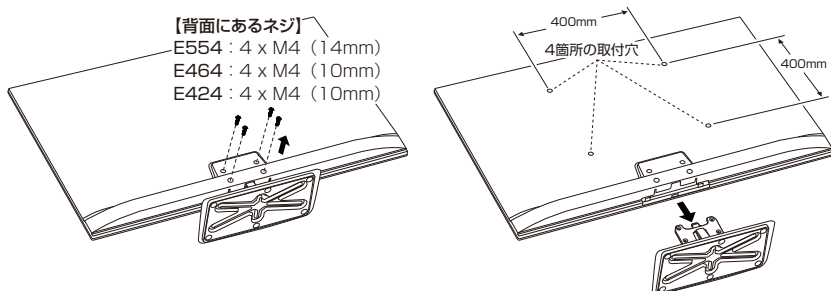
⚠注意

- 台座の取り付けは、十分な安全を確保できる人数(必ず2名以上)でおこなってください。落下してけがの原因となることがあります。
- 台座取り付け時、本体と台座の間に手を挟まないように注意してください。

ケーブルクランプを使う

ケーブルはケーブルクランプでまとめておきます。

市販の壁掛け用取付金具を使用する場合

ケーブルが壁に当たらないように、本機は壁から少なくとも6cm離して取り付けてください。本機を壁に取り付けるときは、事前にスタンド部と台座を外しておく必要があります。安全のため、支持具は本機の重さに耐えられるVESA規格に準拠した壁掛け用取付金具だけを使用してください。壁掛け用取付金具は以下のようにして本機に取り付けます。

E554/E464/E424

壁掛け用取付金具に使用するネジについて

画面サイズ(インチ)	ブラケットサイズ(mm)	ネジ必要本数
55	400 x 400	4 x M6(取付穴の深さ：24mm)
46	400 x 400	4 x M6(取付穴の深さ：19mm)
42	400 x 400	4 x M6(取付穴の深さ：21mm)

1. 背面にあるネジを緩め、スタンド部と台座を取り外します。
2. 4本のM6ネジを使って壁掛け用取付金具を本機の背面に取り付けます。

メモ:

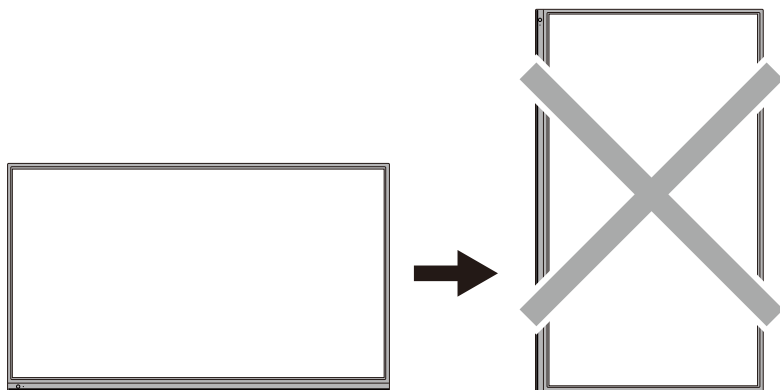
壁掛け用取付金具は本機に付属しておらず、別売です。詳しくはお買い上げの販売店、または修理受付／アフターサービス窓口にお問い合わせください。

本機への金具の取付には、取付金具の板厚とネジの座金の厚さと本機の取付穴の深さを合計した長さのネジを使用して、しっかりと締めてください。

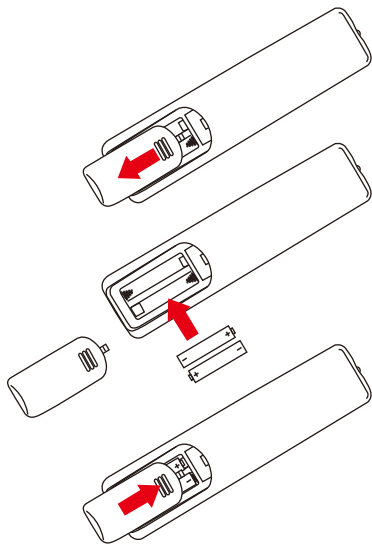
取付穴は背面に4個あります。取り付けの際は上下左右均等に取り付けてください。

本機の取付面と取付金具との間には隙間が無いようにしてください。

⚠警告

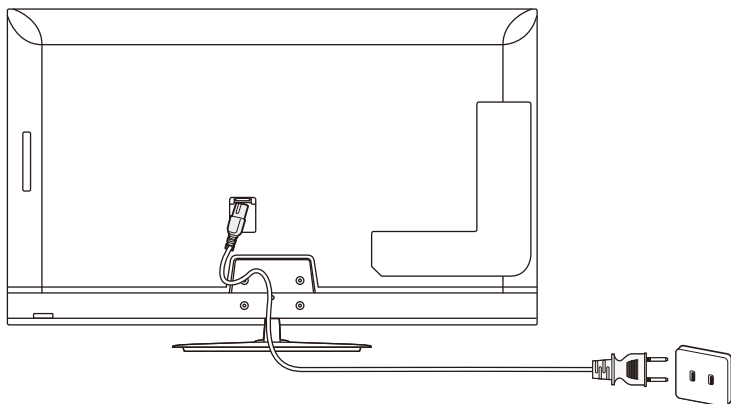
- 縦型の状態で設置しないでください。
  縦型の状態で設置すると、故障の原因となります。

リモコンに乾電池を入れる

単４形乾電池２つが必要です。下図に従って乾電池を入れてください。

1. リモコン裏面の乾電池ホルダーのカバーを少し押しながら矢印の方向へ引いて取り外します。
2. 新しい単４乾電池２本をホルダーに入れます。古い乾電池が入っている場合は、バネのほうに少し押しながら取り出します。
3. 乾電池の＋、－をホルダーの＋、－のマークに合わせます。
4. 乾電池の－の側を先にホルダーのバネに当て、少し押しながら＋の側もホルダーの中に入れます。乾電池は無理やりホルダーの中へ押し込まないでください。
5. ホルダーカバーは、突起をホルダー側の穴に合わせ、カチッと音がするまで押して取り付けます。

電源を接続する

お願い -

- 電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。(XX A以上必要です。)
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

1. 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに差し込む
   奥までしっかり差し込んでください。
2. 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する
   電源プラグがしっかりと挿入されていないと、画質が低下したり、火災・感電の原因となることがあります。

電源をつなぐと、本機前面下端のLEDが赤色に点灯します。赤色の点灯は本機がスタンバイモードであることを示します。

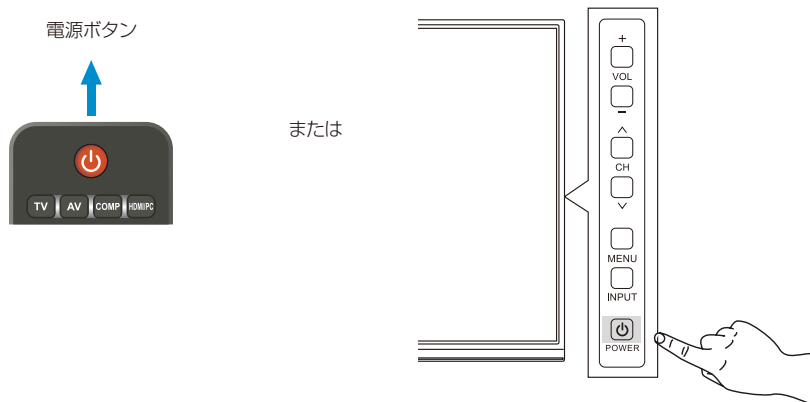
⚠警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

お願い -

- 電源コンセント周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

本機の電源オン / オフ

リモコンの電源ボタンまたは本機側面の電源ボタンを押します。本機が電源オンの状態になります。

電源ランプの状態

モード	通常動作時（オンモード）	スタンバイモード（パワーセーブ）	ウォーミングアップモード
電源ランプ	無点灯	赤色点灯	赤点滅

オンモード時に、外部からの入力信号がなくなると、本機は次の動作を行います。

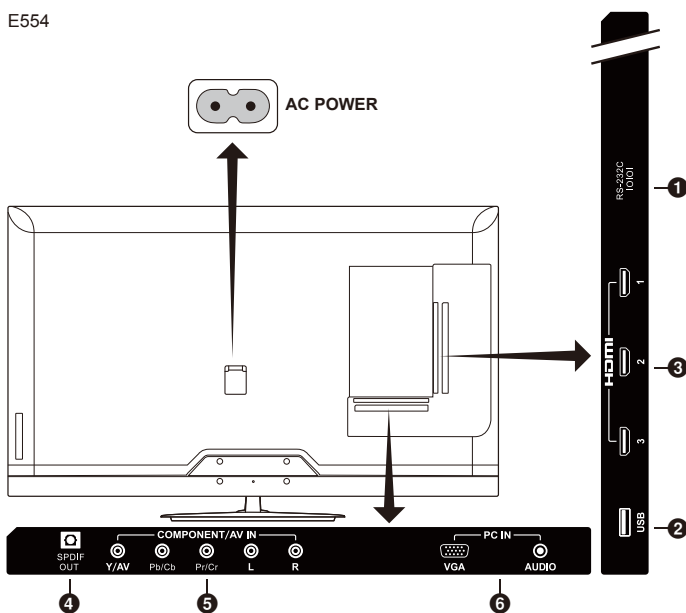
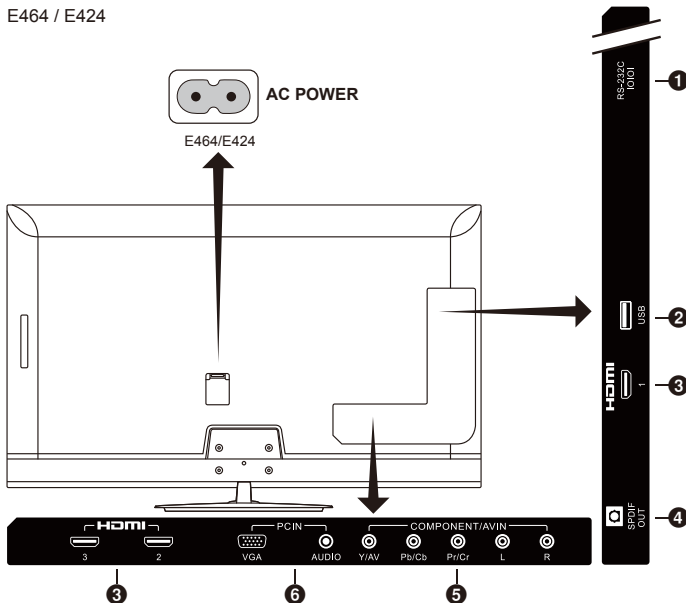
VGA端子の場合、15秒後にウォーミングアップモードに移行します。

その他の端子の場合、15分後にウォーミングアップモードに移行します。

ウォーミングアップモード時に、外部からの入力信号を受け取ると、自動でオンモードに切り替わります。

パワーセーブ時に、リモコンまたは本機側面の電源ボタンを押すと、オンモードに切り替わります。

接続端子の説明

E554
AC POWER
RS-232C
HDMI
1
2
3
USB
SPDIF
OUT
COMPONENT/AV IN
Y/AV
Pb/Cb
Pr/Cr
L
R
PC IN
VGA
AUDIO
E464 / E424
AC POWER
E464/E424
RS-232C
USB
HDMI
1
SPDIF
OUT
HDMI
3
2
PCIN
VGA
AUDIO
COMPONENT/AVIN
Y/AV
Pb/Cb
Pr/Cr
L
R

❶ **RS-232C** – クロスタイプのRS-232Cケーブル(市販)を使って、RS-232C端子を持つコンピューターと接続すると、本機を制御することができます。*(→P34)*

❷ **USB** – USBメモリーに保存された写真を表示することができます。*(→P27 、28)*

❸ **HDMI (HDMI1、HDMI2、HDMI3)** – HDMI認証ケーブル(市販)を使って、デジタル映像インターフェイスのHDMI規格に準拠した機器に接続します。

❹ **SPDIF** - 光デジタルケーブルを使って、デジタル音声入力(光)端子を持つオーディオ機器に接続します。

❺ **COMPONENT/AV IN** – Y/AV端子(緑色)の端子は、コンポーネントビデオ入力端子とコンポジットビデオ入力端子を兼ねています。

コンポーネント接続の場合、コンポーネントビデオケーブル(市販品)を使って、ビデオプレーヤー/DVDプレーヤー等に接続します。

コンポジット接続の場合、コンポジットビデオケーブル(市販品)の映像端子(黄色)を使って、本機のY/AV端子(緑色)とビデオプレーヤー/DVDプレーヤー等の映像端子(黄色)に接続します。

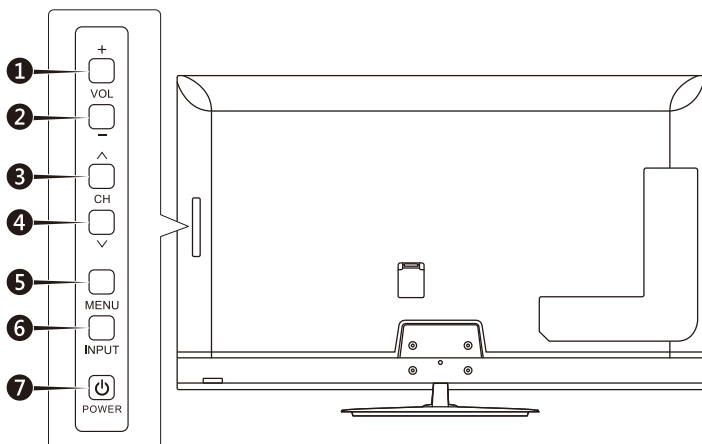
音声については、両接続ともに、音声ケーブル(市販品)を使って、アナログ音声出力端子を持つビデオプレーヤー/DVDプレーヤー等に接続します。

❻ **PC IN/VGA** – 付属のD-SUBケーブルを使って、アナログ映像出力端子を持つコンピューターに接続します。

PC IN/AUDIO – 音声ケーブル(市販)を使って、アナログ音声出力端子を持つコンピューター、ビデオプレーヤー、DVDプレーヤー等に接続します。

メモ:

外部機器を接続したら、リモコンの入力切替ボタン(Source)を押して、見たい入力信号を選択します。もしくは、コンポーネントビデオケーブルを接続していて、その映像を見たいときはCOMPボタンを押します。

操作説明

サイドパネルの操作ボタン

1.	VOL +	ボリュームを上げます。 OSDメニューでは選択項目を右へシフトします。
2.	VOL -	ボリュームを下げます。 OSDメニューでは選択項目を左へシフトします。
3.	CH ︿	OSDメニューで選択項目を上へシフトします。
4.	CH ﹀	OSDメニューで選択項目を下へシフトします。
5	MENU	OSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューを表示/終了します。
6	INPUT	入力信号を選択します。 AV(コンポジットビデオ)→ コンポーネントビデオ → HDMI 1 → HDMI 2 → HDMI 3 → PC → USB →繰り返し
7.	⏻	本機の電源をオン/オフ(スタンバイ)します。

リモコンの使い方

❶ **電源ボタン**
電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。

お知らせ:
電源を完全にオフにするときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

❷ **TV**
本機では動作しません。

❸ **AV**
コンポジット入力信号を選択します。

❹ **COMP**
コンポーネント入力信号を選択します。

❺ **HDMI/PC**
PC IN、HDMI入力信号を切り換えます。

❻ **0 — 9 / - 数値ボタン**
本機では動作しません。

❼ **PRE CH**
本機では動作しません。

❽ **Source**
各種入力信号を切り換えます。

❾ **Mute**
音声をオン/オフします。

❿ **VOL+ / VOL-**
音量を増減します。

⓫ **CH+ / CH-**
本機では動作しません。

⓬ **Exit**
OSDメニューを終了します。

⓭ **Display**
情報を表示します。

⓮ **FAV**
USBメモリーに保管された写真をお気に入りリストに追加、または削除する際に使用します。

⓯ **Menu**
OSDメニューを表示します。

⓰ **▲、▼、◀、▶、OK(カーソルボタン)**
各種メニュー項目の選択、選択の決定を行います。

⓱ **カラーボタン**
本機では動作しません。

⓲ **MTS**
本機では動作しません。

⑲ **Wide**
画像の縦横比を選択します。
選択できるのは、Normal(標準)、Zoom(拡大)、Wide(ワイド)、Cinema(シネマ)の4種類です。

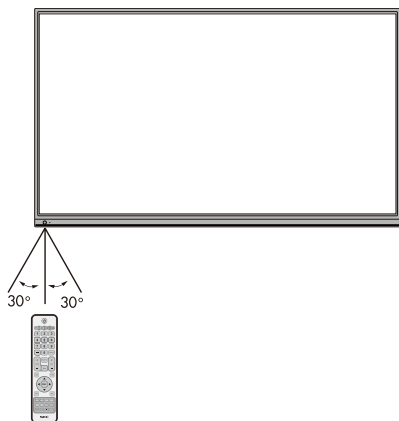
⑳ **Picture**
ピクチャーモードを選択します。
Dynamic(ダイナミック)/
Standard(標準)/
Energy Savings(節電)/
Theatre(映画)/
Custom(カスタム)
の5種類のモードがあります。

㉑ **Audio**
サウンドモードを選択します。
Standard(標準)/Movie(映画)/Music(音楽)/News(ニュース)/Custom(カスタム)/Equalizer(イコライザー)の6種類のモードがあります。

㉒ **Ch-List**
本機では動作しません。

㉓ **C C**
本機では動作しません。

リモコンの使用範囲

リモコンの操作をするときは本機のリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。
リモコンは、リモコン受光部から7m以内、上下左右30°では3.5m以内でご使用ください。

お知らせ:

太陽の直射日光や強い光の当たるところ、または、蛍光灯の近くでは、リモコン操作がきかない場合があります。

タイミングテーブル

解像度	E424/E464/E554		水平		垂直		公称ピクセルクロック周波数（MHz）
	VGA	DVI	公称周波数（kHz）	同期極性	公称周波数（Hz）	同期極性	
640x480@60Hz	●	●	31.469	_	59.940	_	25.175
720x400@70Hz	●	●	31.469	_	70.087	+	28.322
800x600@60Hz	●	●	37.879	+	60.317	+	40.000
1024x768@60Hz	●	●	48.363	_	60.004	_	65.000
1280x720@60Hz	●	●	45.000	_	60.000	+	74.250
1280x800 @60Hz	●	●	49.702	_	59.810	+	83.500
1366x768@60Hz	サポートしていません	●	47.712	+	59.790	+	85.500
1920x1080@60Hz	●（ネイティブ）	●（ネイティブ）	67.500	+	60.000	+	148.500

解像度	E424/E464/E554	
	HDMI	コンポーネント
480i 60Hz	●	●
480P 60Hz	●	●
720P 60Hz	●	●
1080i 60Hz	●	●
1080P 24Hz	●	サポートしていません
1080P 30Hz	●	サポートしていません
1080P 60Hz	●	サポートしていません

お知らせ：

本機のHDMI端子とパソコンのDVI端子を市販の変換ケーブルで接続してパソコンのモニターとして使うことが出来ます。

パソコンによっては、HDMI規格に対し、十分にサポートされていない場合があり、パソコンの画面が正しく表示されないことがあります。

オンスクリーンメニューの操作

メインメニューはMenuボタンで表示/終了します。
OSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューの選択項目は、カーソルボタンで切り換え、選択、調節、決定します。

お知らせ:
利用できる機能は入力信号によって異なります。

映像メニュー

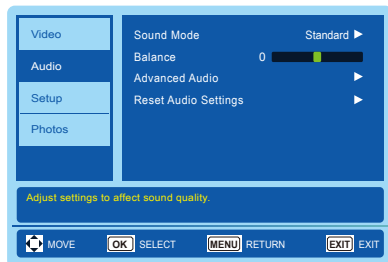
映像に関する設定項目を調節するメニューです。

1. **ピクチャーモード**
   ピクチャーモードを選択します。
   選択できるのは、以下のモードです:
   ダイナミック、標準、節電、映画、ゲーム、カスタム
2. **明るさ**
   画像の明るさを調節します。
3. **コントラスト**
   画像のコントラストを調節します。
4. **色のこさ**
   色のこさを調節します。
5. **アドバンストビデオ設定**
   映像に関する詳細な設定項目を調節します。
   [ダイナミックバックライト]
   明暗のコントラストを強調して最適な画像にします。
   [色温度]
   Cool(寒色)、Normal(標準)、Warm(暖色)のいずれかを選択します。
   [ノイズリダクション]
   画像ノイズを少なくします。
   [色相]
   画像の色調(Red、Green、Blue)をR50~G50で調節します。
   [シャープネス]
   文字や画像のキレを調節します。
   [アダプティブコントラスト]
   画像のシャープネスと明るさを自動調節します。
   [アスペクト]
   画像の縦横比を調節します。
   [オーバースキャン(On/Off)]
   画像表示エリアを選択します。
   - オン:
     入力信号の約95%を表示します。
   - オフ:
     入力信号のほぼ100%を表示します。信号によっては、画面の端にノイズが出ることがあります。

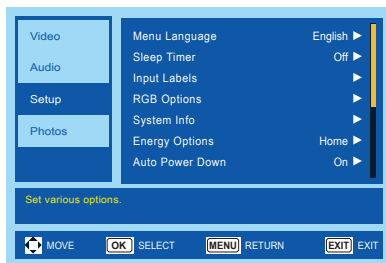
   お知らせ:
   HDMI出力付コンピューターと接続して使用する場合は、オフにしてください。

   [バックライト]
   バックライトの明るさを設定します。
6. **映像設定のリセット**
   映像メニュー内の設定を工場出荷時の設定にリセットします。

音声メニュー

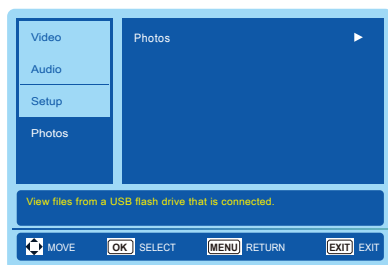
オーディオ設定を調節します。

1. **サウンドモード**
   サウンドモードを選択します。
   選択できるのは、以下のモードです：
   標準、映画、音楽、ニュース、カスタム、イコライザー
2. **バランス**
   本機内蔵の左右のスピーカーのオーディオバランスをL50～R50で調節します。
3. **アドバンスト音声設定**
   音声に関する詳細な設定項目を調節します。
   [低音]
   周波数の低い音域を強調します。
   [高音]
   周波数の高い音域を強調します。
   [イコライザー]
   130Hz、400Hz、1.2kHz、4kHz、9.5kHzの5つのプリセットレンジにおけるオーディオ周波数を調節します。
   [内部スピーカー]
   内部スピーカーを使わないときはOffを選択します。
   [デジタル出力]
   RAWまたはPCM(デジタルチャネル、HDMIで有効)の光出力オプションを選択します。
4. **音声設定のリセット**
   音声メニュー内の設定を工場出荷時の設定にリセットします。

セットアップメニュー

入力信号によっては、メニュー上に表示されない(選択不可能な)機能もあります。

1. **言語選択**
   メニューに表示される言語を選択します。
2. **スリープタイマー**
   本機を自動的にオフにするまでの時間を選択します。Off、5、10、15、30、60、90、120、180、240分のいずれかを選択します。
3. **入力名称**
   本機に接続されている機器のラベルを作成することができます。
4. **D-SUBオプション**
   D-SUBケーブル経由で、アナログ映像信号が入力されている場合、下記の設定が可能となります。
   [オートアジャスト](自動調節)
   画像の位置などの設定を自動調節します。
   [水平位置]
   水平位置を調節します。
   [垂直位置]
   垂直位置を調節します。
   [クロック周波数]
   画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。
   [位相]
   画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭のぼやけが起こったときに調節します。
   [D-SUBオプションのリセット]
   D-SUBオプションの設定を工場出荷時の設定にリセットします。

5. **モニターインフォメーション**
   映像の情報を表示します。
6. **省エネルギー設定**
   Homeモードは家庭用で、節電の幅が大きくなるモードです。
   Retailモードは、本機の消費電力が比較的多くなるモードです。
7. **自動電源オフ**
   もし、ユーザーからの操作が4時間以上無かった場合、本機の電源を自動で切ります。
8. **モニター ID**
   市販のRS-232Cケーブルを使って、本機とコンピューターを接続した際、モニターIDを設定する必要があります。
   1〜100、ALL、A〜Jの中からモニタIDを設定します。*(→P35)*
9. **AV関連とセットアップメニューのリセット**
   音声メニュー、映像メニュー、セットアップメニューを工場出荷時の設定にリセットします。

写真再生メニュー

USBメモリーに保管された画像を簡単に見ることができます。

USBメモリーが検出されない場合は、Please Insert USB flash driver(USBフラッシュドライバを挿入してください)のメッセージが表示されます。

1. **写真閲覧**
   USBメモリー内の写真を検索します。
2. **お気に入りに追加**
   お気に入りの写真だけを表示します。
3. **スライドショーで見る**
   写真をスライドショーで表示します。
4. **セッティング**
   スライドショーの設定を変更します。**Repeat(繰り返し)/Shuffle(シャッフル)/Speed(切り替え時の速度)/Transition(切り替え時の効果)**のいずれかを選択することができます。

写真フォルダでの操作:

- 写真の選択はカーソルボタンで行います。
- 選択したフォルダまたは写真を開いて全画面表示するときはOKを押します。
- 写真再生メニューに戻るときはMENUを押します。
- 写真をお気に入りリストに追加するとき、お気に入りリストから削除するときはFAVボタンを押します。

写真を全画面表示しているときの操作:

- 次の写真に切り換えるときは▶を押します。前の写真に戻るときは◀を押します。
- OKを押すと、画像が時計回りに回転します。OKを押して回転させるときの画像はZoomのFillのスタイルに変わります。
- 画像を拡大するときはWideを押します。ズーム機能はボタンを押すたびに順次x1→x2→x4→Fillに切り換わり、画面の右端に現在のその機能が表示されます(画像の解像度がパネルの解像度を超える場合は、x 1の項目のみ選択可能です。)。
- フォルダ/写真リストに戻るときはMENUを押します。

スライドショー中の操作:

- スライドショーをスタート、一時停止するときはOKを押します。
- スライドショーを終了して写真閲覧画面に戻るときはMENUを押します。

表示できる写真の条件

データ形式	JPEG、JPG、JPE
最大フォルダ階層数	9
最大写真枚数	1200
最大お気に入り写真枚数	250
最小画像解像度	75 x 75ピクセル
最大画像解像度(プログレッシブDCT)	1024 x 768ピクセル
最大画像解像度(ベースラインDCT)	15360 x 8640ピクセル
対応ファイルシステム	FAT32

注意:

- 使用できるのはUSBマスストレージクラスのデバイスだけに限ります。
- コンピューターで修正したJPEG画像は表示できないことがあります。
- 一部劣化したファイルは低い解像度で表示されることがあります。
- すべてのUSB機器への対応は保証されていません。
- USBハブは使用しないでください。
- パーティションUSBには対応していません。

お知らせ:

- フォルダ名、ファイル名に使うことの出来る文字は、半角の英文字と数字です。全角文字や半角文字は使用できません。
- フォルダ名、ファイル名は、使用するデジタルカメラによって異なることがあります。
- USB2.0タイプAコネクター(DC5V、最大500mA)に対応しています。500mAを超えるUSB機器の場合は、アダプタか外部電源を使用することをお勧めします。

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい商品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するように努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社インターネットホームページをご覧ください。

http://www.nec-display.com

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお申し込みは下記へお願いします。

事業系（法人ユーザー様）の窓口
日本電気株式会社／NECロジスティクス株式会社 **0120-802-310（フリーダイヤル）**
URL http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html
受付時間　土・日・祭日を除く　9:00～12:00/13:00～17:00
休日は、土曜・日曜・祭日及び年末年始等の両社の所定休日とさせていただきますので、ご容赦願います。

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。

2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている商品※は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

※ “PCリサイクル”の表示のない商品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きますので、あらかじめご了承ください。

※ 本機は事業系（法人ユーザー様）向けに販売している商品です。

個人ユーザー様が本商品を排出される時には、有償となることがあります。

詳細は弊社ホームページ（http://www.nec-display.com/jp/environment/recycle/display.html）をご参照ください。

保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。

法人ユーザー様の窓口
NECビジネスPC修理受付センター
フリーコール:0120-00-8283
携帯電話をご利用のお客様はこちらの番号へおかけください。 0570-064-211(通話料お客様負担)
受付時間:月～金　9:00～18:00 土曜、日曜、国民の祝日、法律に定める休日、 NEC規定の休日(1 2月29日～1月3日、4月30日～5 月2日)を除く

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所(付近の目標など)
- 電話番号
- 品　名:液晶ディスプレイ
- 型　名:E554／E464／E424
- 製造番号(本機背面のラベルに記載)
- 故障の症状、状況など(できるだけ詳しく)
- 購入年月日または使用年数

製品仕様

本機は下表の仕様に準拠しています。
仕様の一部は予告なしに変更することがあります。
後発のモデルで追加される機能や仕様には対応していないことがあります。

E554

LCDモジュール			55型 (1397mm対角)
		解像度：	1920 x 1080
		表示色：	1600万色以上 (ビデオカードによる)
走査周波数		水平周波数：	31～83KHz (アナログ入力) 15.625/15.734KHz、31～83KHz (HDMI入力)
		垂直周波数：	60Hz～75Hz (アナログ入力) 24Hz、30Hz、50Hz、60Hz～75Hz (HDMI入力)
ピクセルクロック			25～156MHz
有効表示領域			1209.6 (水平) x 680.4 (垂直) mm
入力信号			
	COMPONENT	コンポーネント	RCA Y：1.0Vp-p / 75Ω、 Pb/Pr (Cb/Cr)：0.7Vp-p / 75Ω
	AV IN	コンポジット	RCA 1.0V p-p / 75Ω
	VGA	アナログRGB	D-sub 15ピン
	HDMI		タイプA コネクター
音声信号			
	音声入力	アナログ音声	ステレオミニジャック
	音声入力	AUDIO L / R	RCA 0.5Vrms / 75Ω
	音声出力	SPDIF OUT	PCM、光ファイバー
スピーカー出力		内蔵スピーカー：	10W + 10W (16Ω)
制御信号		RS-232C:	D-sub 9ピン
電源			1.3A ～ 0.55A @ AC 100 ～ 240V、50/60Hz
		スタンバイ時：	< 0.5W
		消費電力：	122W
使用環境		温度：	0～40° C
		湿度：	10～80%
		高度：	0～2000m
保管環境		温度：	-10° C～60° C
		湿度：	5～85%
外形寸法		台座を含む：	1241 (幅) x 789.6 (高さ) x 274.4 (奥行) mm
		台座を含まない：	1241 (幅) x 735 (高さ) x 62.8 (奥行) mm
質量		台座を含む：	23.3kg
		台座を含まない：	20.2kg
VESA互換マウントインターフェース			400mm x 400mm (M6タイプ、取付穴の深さ：24mm)
電源管理			VESA DPM準拠
プラグアンドプレイ			VESA DDC2B
適合規格等	パワーセーブ		国際エネルギースタープログラム
	安全		UL60065
	不要輻射		VCCI-B
	その他		電気用品安全法、J-MOSS
付属品			台座 (1)、台座取付用ネジ (4) (M4 x 10mm)、 リモコン (1)、1.5V単4形 乾電池 (2)、 電源コード (1)、信号ケーブル (1)、 セットアップマニュアル (1)、 ユーティリティーディスク (1)、保証書 (1)

E464

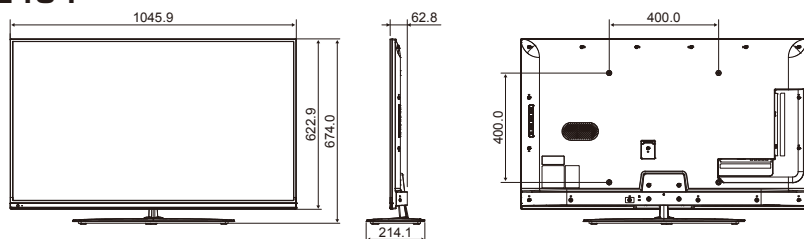
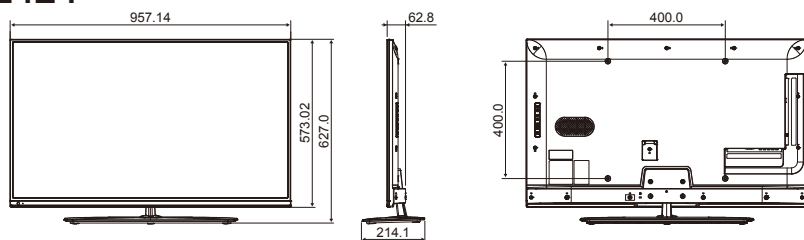
LCDモジュール		46型 (1168mm対角)
	解像度：	1920 x 1080
	表示色：	1600万色以上 (ビデオカードによる)
走査周波数	水平周波数：	31～83KHz (アナログ入力) 15.625/15.734KHz、31～83KHz (HDMI入力)
	垂直周波数：	60Hz～75Hz (アナログ入力) 24Hz、30Hz、50Hz、60Hz～75Hz (HDMI入力)
ピクセルクロック		25～156MHz
有効表示領域		1018.08 (水平) x 572.6 (垂直) mm
入力信号		
COMPONENT	コンポーネント	RCA Y：1.0Vp-p / 75Ω、 Pb/Pr (Cb/Cr)：0.7Vp-p / 75Ω
AV IN	コンポジット	RCA 1.0V p-p / 75Ω
VGA	アナログRGB	D-sub 15ピン
HDMI		タイプA コネクター
音声信号		
音声入力	アナログ音声	ステレオミニジャック
音声入力	AUDIO L / R	RCA 0.5Vrms / 75Ω
音声出力	SPDIF OUT	PCM、光ファイバー
スピーカー出力	内蔵スピーカー：	10W + 10W (16Ω)
制御信号	RS-232C:	D-sub 9ピン
電源		1.0A～0.45A @ AC 100～240V、50/60Hz
	スタンバイ時：	< 0.5W
	消費電力：	100W
使用環境	温度：	0～40° C
	湿度：	10～80%
	高度：	0～2000m
保管環境	温度：	-10° C～60° C
	湿度：	5～85%
外形寸法	台座を含む：	1045.9 (幅) x 674 (高さ) x 214.1 (奥行) mm
	台座を含まない：	1045.9 (幅) x 622.9 (高さ) x 62.8 (奥行) mm
質量	台座を含む：	15.5kg
	台座を含まない：	13.8kg
VESA互換マウントインターフェース		400mm x 400mm (M6タイプ、取付穴の深さ：19mm)
電源管理		VESA DPM準拠
プラグアンドプレイ		VESA DDC2B
適合規格等	パワーセーブ	国際エネルギースタープログラム
	安全	UL60065
	不要輻射	VCCI-B
	その他	電気用品安全法、J-MOSS
付属品		台座 (1)、台座取付用ネジ (4) (M4 x 10mm) リモコン (1)、1.5V単4形 乾電池 (2)、 電源コード (1)、信号ケーブル (1)、 セットアップマニュアル (1)、 ユーティリティーディスク (1)、保証書 (1)

E424

LCDモジュール		42型 (1067mm対角)
	解像度：	1920 x 1080
	表示色：	1600万色以上 (ビデオカードによる)
走査周波数	水平周波数：	31～83KHz (アナログ入力) 15.625/15.734KHz、31～83KHz (HDMI入力)
	垂直周波数：	60Hz～75Hz (アナログ入力) 24Hz、30Hz、50Hz、60Hz～75Hz (HDMI入力)
ピクセルクロック		25～156MHz
有効表示領域		930.24 (水平) × 523.26 (垂直) mm
入力信号		
COMPONENT	コンポーネント	RCA Y：1.0Vp-p / 75Ω、 Pb/Pr (Cb/Cr)：0.7Vp-p / 75Ω
AV IN	コンポジット	RCA 1.0V p-p / 75Ω
VGA	アナログRGB	D-sub 15ピン
HDMI		タイプA コネクター
音声信号		
音声入力	アナログ音声	ステレオミニジャック
音声入力	AUDIO L / R	RCA 0.5Vrms / 75Ω
音声出力	SPDIF OUT	PCM、光ファイバー
スピーカー出力	内蔵スピーカー：	10W + 10W (16Ω)
制御信号	RS-232C:	D-sub 9ピン
電源		0.9A～0.4A @ AC 100～240V、50/60Hz
	スタンバイ時：	< 0.5W
	消費電力：	86W
使用環境	温度：	0～40° C
	湿度：	10～80%
	高度：	0～2000m
保管環境	温度：	-10° C～60° C
	湿度：	5～85%
外形寸法	台座を含む：	957.14 (幅) x 627.00 (高さ) x 214.1 (奥行) mm
	台座を含まない：	957.14 (幅) x 573.02 (高さ) x 62.8 (奥行) mm
質量	台座を含む：	13.4kg
	台座を含まない：	11.7kg
VESA互換マウントインターフェース		400mm x 400mm (M6タイプ、取付穴の深さ：21mm)
電源管理		VESA DPM準拠
プラグアンドプレイ		VESA DDC2B
適合規格等	パワーセーブ	国際エネルギースタープログラム
	安全	UL60065
	不要輻射	VCCI-B
	その他	電気用品安全法、J-MOSS
付属品		台座 (1)、台座取付用ネジ (4) (M4 x 10mm)、 リモコン (1)、1.5V単4形 乾電池 (2)、 電源コード (1)、信号ケーブル (1)、 セットアップマニュアル (1)、 ユーティリティーディスク (1)、保証書 (1)

外形寸法

E554

E464

E424

RS-232C リモートコントロール

本機のRS-232C端子とコンピューターのRS-232C端子をRS-232Cケーブル(市販)で接続するとコンピューターから次のような操作が可能になります。

· 電源の入切
· 入力の切替

お知らせ:

- コンピューターの25ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプターが必要です。
- 変換アダプターについてはお買い上げの販売店へお問い合わせください。

1. インターフェイス

プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600[bps]
データ長	8[bits]
パリティビット	なし
ストップビット	1[bit]
通信コード	ASCII

- 本機はRS-232Cコントロール用としてRXD, TXDおよびGNDラインを使用します。
- リバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232Cケーブル(市販)を使用してください。

コンピューターはRS-232Cケーブル経由で制御コマンドを本機に送ります。本機は受信した制御コマンドに従って動作し、コンピューターに応答メッセージを送ります。
同時に複数の制御コマンドは送らないでください。コンピューターが本機からの応答メッセージを受けとったことを確認してから次の制御コマンドを送ってください。

2. コントロールコマンド(例:モニター IDを1に設定した場合)

Function (Monitor ID = 1)	Code Data
Power ON	01 30 41 30 41 30 43 02 43 32 30 33 44 36 30 30 30 31 03 73 0d
Power OFF	01 30 41 30 41 30 43 02 43 32 30 33 44 36 30 30 30 34 03 76 0d
Input Source Select VGA	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 31 03 73 0d
Input Source Select HDMI	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 31 31 03 72 0d
Input Source Select Component	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 43 03 01 0d
Input Source Select Composite	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 35 03 77 0d
Sound Mute ON	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 38 44 30 30 30 31 03 09 0d
Sound Mute OFF	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 38 44 30 30 30 32 03 0a 0d

困ったとき

故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合 電源ランプ設定がONの場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P17
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
	電源ランプが緑色に点灯している場合	信号入力が無い入力コネクターが選択されている可能性があります。入力切替ボタンを押して、入力コネクターを切り替えてください。	P20
		OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P25
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P30
		● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「映像メニュー」の「明るさ」と「コントラスト」を調節してください。	P25
		● OSD画面が正常に表示され、「明るさ」と「コントラスト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P24
	電源ランプが赤色に点灯している場合	信号ケーブルが本機または接続機器のコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P19、20
		接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	
画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合※	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P30

※液晶ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

表示がおかしいときは…

症　状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	
画面の表示状態が変わっていく	液晶ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P10、11
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。電源を切るか、変化する画面を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。長時間に渡って静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。	P6
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P25
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P30
	● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「色温度」を選択しお好みで色の割合を調節していただくか、または映像設定リセットをおこなって工場出荷値に戻してください。	P25
	● OSD画面が正常に表示され、「映像メニュー」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P24
画面がちらつく(分配器を使用している場合)	分配器を中継させず、コンピューターと直に接続してください。	P19
画面がちらつく(上記以外の場合)	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P25
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P30
	● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。	P26
	● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P24

その他（コンピューターと接続している場合）

症　状	原　因	対　処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップ情報のインストールが必要な可能性があります。	付属のユーティリティーディスクのWindows®セットアップ情報をコンピューターにインストールしてください。
	Windows®セットアップ情報をインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。

その他（リモコン、スピーカー）

症　状	原因と対処	参照
リモコンで操作できない	● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● リモコンの乾電池の＋－が逆に入っていませんか。 ● 本機の受光部に正しく向けていますか。	P16
映像は出るが、音が出ない	● オーディオ出力コネクターに出力した機器から音が出ない場合は、オーディオ入力コネクターの接続コードが外れていないか調べてください。また音声バランスが片側によっていないか調べてください。片側によっている場合はバランス設定をセンターに戻してください。 ● 消音状態になっていませんか。 ● 音量が最小になっていませんか。 ● 抵抗ありのオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルをご使用ください。	P19、21、26

その他(RS-232Cで接続している)

症　状	原因と対処	参照
RS-232Cで制御できない	RS-232Cケーブルが正しく接続されているかを確認してください。	P19、35

映像機器を使用するとき

症　状	原因と対処	参照
映像も音も出ない	DVDプレーヤーなどの外部機器は正しく接続し、正しく操作していますか。詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。	P19
	本機のパワーセーブ機能が作動している可能性があります。外部機器側が動作(再生)状態になっているかご確認ください。 リモコン、または本機側面の電源ボタンを押して、オンモードに切り替えてください。	P18
色がつかない、色がおかしい	色のこさの調節をしてください。 色温度の調節をしてください。 色相の調節をしてください。	P25
画面が縦長に見える	16：9の映像が4：3に圧縮され、縦長の映像として表示されている場合(スクイーズ信号)があります。 正しい比率で見るために、「映像メニュー」の「アスペクト」を調節してください。	P25

用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。
また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から
操作に関する説明をお探しいただけます。

日本語

HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。
HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。ただし、HDCPの規格変更などが行われた場合、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）　*P20、22、24*

デジタル映像・音声入出力の規格です。
1本のケーブルで映像・音声・制御信号の送受信が可能です。
デジタル信号をアナログ変換する必要が無いため高画質な映像とデジタル音声が楽しめます。

位相　*P26*

アナログ信号をきれいに表示するための調節項目の1つです。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

コンポーネント映像　*P20、22、24*

映像信号を輝度信号（Y）と、色系統信号（赤系（Pb）／青系（Pr））に分けて送り、受け側の表示機器で画面に映すときに合成して映像にします。輝度信号と色系統信号が分けて送られるため、従来のアナログテレビ放送などで発生しやすい、不要な色付きや色にじみなど画質の悪化を抑えることができます。

残像　*P6、37*

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象です。
残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

水平周波数／垂直周波数　*P31、32、33*

水平周波数：　1秒間に表示される水平線の数のことで、水平周波数31.5kHzの場合、1秒間に水平線を31,500回表示するということです。
垂直周波数：　1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が60Hzの場合、1秒間に画面を60回書き換えているということです。

パワーマネージメント機能　*P6*

コンピューターの消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力が無いなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度　*P24、28*

一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。